

2月の園便り

今月は「立春」を迎え、暦上の春が始まります。全国的に厳しい寒波と降雪に見舞われていて、例年よりも厳しい寒さが続いています、園の木蓮はふっくらした蕾を見せはじめ、一足先に冬の終わりが近づいてきている事を知らせてくれているかのようです。

冬から初春へと移り変わる自然を感じながら、子ども達と一緒に今しかできない経験を楽しんでいきたいと思ひます。

新型コロナウイルス感染症の動向がいろいろと変化し、感染拡大防止と社会経済活動の両立をどう図るか、保護者の皆様も悩まれている事と思ひます。予想された通り今季はインフルエンザの流行もあってまだまだ油断できない日が続きます。引き続き基本的な感染対策を心掛けながら子どもたちの健康管理には気を付けていきましょう。

《 行事予定 》

日	曜	行事	日	曜	行事
3	金	豆まき	21	火	誕生児写真撮影
6~10	火~金	身体計測・避難訓練随時	24	金	3月分諸費袋渡し・2月分保育料引き落とし日
9	木	ポピー学習教室(5歳児クラス)	24	金	リトミック
10	金	シーツ交換・布団持ち帰り	24.25	金・土	シーツ交換・布団持ち帰り
13	月	英語	27	月	英語
15	水	園庭開放	未定		登美丘東こども園「つくってあそぼう会」(4歳児クラス)
13~17	月~金	防犯訓練随時	18→3/4	土	生活発表会(3・4・5歳児クラス)

※新型コロナウイルス感染症の流行や天災等、状況により行事の変更・延期・中止になることがあります

◎「季節を分ける」という意味の『節分』。暦上での季節の初日にあたる[立春][立夏][立秋][立冬]の前日を差し、年に4回あるのですが、「鬼(厄災)を追い払う行事を行う日」として特に大切にされた為、次第に「立春」前日の『節分』のみを指すようになりました。この日は豆をまく、恵方巻きや鯛を食べる、柊を飾るなどの風習があります。

厄災の象徴になりがちな鬼ですが、地方によっては『無病息災』を願い「鬼は内」と豆まきをする風習があったり、人々の為に力を貸した鬼の民話もあったりもします。色んな鬼の話を知って豆まきするのも楽しいかもしれませんね。ちなみに「歳の数だけ食べる慣わしがある福豆」。食べる豆の個数は、その年に迎える年齢+1=数え年分です。が、年齢によっては心配になりそうな量になる人もいますので、ほどほどに・・・。

◎11日は「建国をしのび、国を愛する心を養う日」として定められた『建国記念の日』です。実は、日本という国ができた正確な日ははっきりと分かっておらず、日本の初代天皇である神武天皇(じんむてんのう)が即位した日をもとにしています。「日本という国ができた日」ではなく「できたことをお祝いする日」なんだそうですよ。

◎2月21日はユネスコ(国際連合教育科学文化機関)が制定した国際デーのひとつ、『国際母語デー』です。『母語』とは、基本的に母から習った言葉で一番自由に使える言葉のこと。『母国語(自分が所属している国の言葉)』とは意味合いが違います。日本に住み、日本語を話す人たちに囲まれている環境が主な日本では、母語が母国語と一緒に人が大多数と思われるが、世界には母語と母国語が違う人たちが大勢います。「言語と文化の多様性、多言語の使用、そしてあらゆる母語の尊重の推進」を目的として『国際母語デー』は制定されました。

ちなみに、日本語は文字にすると『漢字』『ひらがな』『カタカナ』の3種類がある上、それぞれ使い方の違いを理解し何気なく無意識の内に使い分けています。このように3種類の文字を使う言語は他にはありません。奥が深い高度な言語です。

こんな特徴がある凄い日本語、大切にしていきたいと思います。

♪今月の歌・・・「まめまき」「うれしいひなまつり」「ゆき」「雪のペンキ屋さん」「ゆきのこぼりず」など

《美しい日本語シリーズ》

春の訪れを感じる言葉も色々あります。ここに挙げているのは一部ですが、美しい日本語に触れてみて下さい。

【春の訪れを感じる言葉】

梅風(ばいふう):梅の香りを運ぶ風。

雪解風(ゆきげかぜ):雪解け頃の風。春先の暖かい風

花嵐(はなあらし):2・3月に吹く春の季節風。

春一番(はるいちばん):立春から春分までの間に吹く強い南風

浅春(せんしゅん):2月下旬頃。春の初期の初期で寒さが消えきらない頃。

初陽(しよよう):春の初めの事。朝日や日の出を差す言葉でもある。

春信(しゅんしん):春の始まる兆しの事